

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 デジタルアドベンチャー
 コード番号 4772 URL <http://www.digiadv.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) ペ・ソンウン
 (氏名) 大山 智子

TEL 03-6809-6118

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	3,230	1.5	△290	—	△314	—	△216	—
24年12月期第3四半期	3,182	—	33	—	59	—	40	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 △266百万円 (—%) 24年12月期第3四半期 42百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	3.98	—
24年12月期第3四半期	0.74	—

平成23年12月期は、決算期変更により9ヵ月決算となっております。これに伴い、平成23年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成24年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
25年12月期第3四半期	2,453	—	2,026	—	79.8	—	36.06	—
24年12月期	3,414	—	2,347	—	65.2	—	40.97	—

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 1,958百万円 24年12月期 2,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,560	△26.6	△600	—	△650	—	△550	—	△10.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期3Q	54,392,638 株	24年12月期	54,392,638 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

25年12月期3Q	79,276 株	24年12月期	78,876 株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期3Q	54,313,687 株	24年12月期3Q	54,314,190 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による円高の是正や株価の上昇を背景として企業の景況感が改善するなど、景気全般に明るい兆しが見えてきましたが、欧州の財政危機、新興国経済の減速など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような経営環境の中、当社グループはグループ事業再編により、当社はアーティストマネジメントを中心としたエンターテインメント事業に集中して取り組んでおりますが、当第3四半期には大型イベントがなかったものの、前連結会計年度に購入した大型ドラマ著作権が事業化されたことにより、売上高は大きく伸びております。

一方、利益面については、当第3四半期において売上総利益、営業利益とも確保できたものの、累計では大型ドラマ著作権の償却負担を主な要因としとして原価が増加したことで、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの営業損失となっております。また、ストック・オプションの権利行使期間満了による権利失効により、特別利益として新株予約権戻入益を計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は32億30百万円（前年同期比1.5%増）、営業損失2億90百万円（前年同期は営業利益33百万円）、経常損失3億14百万円（前年同期は経常利益59百万円）、四半期純損失2億16百万円（前年同期は四半期純利益40百万円）となっております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(デジタルコンテンツ配信事業)

デジタルコンテンツ配信事業は子会社に事業が集約されておりましたが、平成25年5月に連結子会社の株式会社アイロゴスおよび株式会社キントーンジャパンの全株式を、同年6月に株式会社ドラゴンコンテンツの全株式を譲渡しております。

この結果、売上高は2億28百万円（前年同期比59.3%減）、セグメント利益は5百万円（前年同期比89.8%減）となっております。

(物販事業)

所属アーティストの関連グッズやCD販売は好調だったものの、イベントが台風のため第4四半期に延期となったことなどによりイベントグッズの売上が少なかったこと、また前連結会計年度において連結子会社であった株式会社日本ブレイス（旧株式会社ザ・ネット・プラン）が持分法適用関連会社になったことに伴いセグメントから除外されたことにより、売上高は4億7百万円（前年同期比54.0%減）、セグメント利益は49百万円（前年同期比66.6%減）となっております。

(ライセンス&メディアコミュニケーション事業)

8月に台湾俳優のジェリー・イエンが「ジェリー・イエン ファンミーティング 2013 「gift」」を開催、前連結会計年度に始動しました新人育成プロジェクト第1弾として、日韓ハイブリッドアイドル「シャッフルオーディション」ファイナリストが来年1月に「BEE SHUFFLE」としてメジャーデビューが決定するなど、引き続き新規案件に積極的に取り組んでまいりました。自社テレビ局「DATV」では、7月からひかりTVでの番組提供が開始しております。また、前連結会計年度に購入した大型ドラマ著作権のDVD等での事業化により、売上高は大きく伸びております。

利益面では、第2四半期までに著作権の償却負担により原価が増加しており、この結果、売上高は25億94百万円（前年同期比76.4%増）、セグメント損失は3億45百万円（前年同期はセグメント損失1億41百万円）となっております。

(その他事業)

前連結会計年度において連結子会社であった株式会社日本ブレイス（旧株式会社ザ・ネット・プラン）が持分法適用関連会社になったことに伴い、セグメントから除外されたことにより、売上高は1百万円（前年同期比99.6%減）、セグメント損失は0百万円（前年同期はセグメント損失30百万円）となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、24億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億60百万円減少しました。この主な要因は、前渡金が9億82百万円減少、短期貸付金が5億円増加、および投資その他の資産のその他が6億35百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、4億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億40百万円減少しました。この主な要因は、短期借入金が1億円減少、および流動負債のその他が3億89百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は20億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億20百万円減少しました。この主な要因は、利益剰余金が2億16百万円減少、その他有価証券評価差額金が50百万円減少、および新株予約権が54百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年8月6日付公表の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に掲載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第2四半期連結会計期間において、株式会社アイロゴス、株式会社キントーンジャパンおよび株式会社ドラゴンコンテンツの全株式の譲渡を行ったことにより、連結子会社から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において8億42百万円の営業キャッシュ・フローのマイナスが発生しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況（重要事象等）が存在しております。これは、前連結会計年度における大型ドラマコンテンツ著作権の取得による前渡金の増加が主な要因であります。当社は当該状況を解消すべく著作権のDVD等事業化を進めた結果、当第3四半期連結累計期間において、著作権の事業化を概ね実現し、投資回収をいたしました。またDATVの加入者増加による収益改善を見込んでいることなどから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	795,051	957,205
受取手形及び売掛金	386,258	427,844
コンテンツ	16,787	1,263
商品	25,124	16,848
仕掛コンテンツ	25,251	—
前渡金	1,236,354	254,125
短期貸付金	—	500,000
その他	30,135	55,268
貸倒引当金	△623	△694
流動資産合計	2,514,339	2,211,860
固定資産		
有形固定資産	20,768	14,837
無形固定資産		
のれん	32,631	9,377
その他	56,193	41,968
無形固定資産合計	88,825	51,345
投資その他の資産		
その他	902,599	267,548
貸倒引当金	△112,266	△92,277
投資その他の資産合計	790,333	175,271
固定資産合計	899,926	241,455
資産合計	3,414,265	2,453,316
負債の部		
流動負債		
買掛金	345,886	227,340
短期借入金	100,000	—
その他の引当金	6,426	6,287
その他	581,868	192,207
流動負債合計	1,034,181	425,835
固定負債	32,728	884
負債合計	1,066,910	426,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,999,492	3,999,492
利益剰余金	△1,792,464	△2,008,796
自己株式	△32,387	△32,403
株主資本合計	2,174,640	1,958,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,335	—
その他の包括利益累計額合計	50,335	—
新株予約権	122,379	68,304
純資産合計	2,347,355	2,026,596
負債純資産合計	3,414,265	2,453,316

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	3,182,493	3,230,614
売上原価	2,462,601	3,067,391
売上総利益	719,892	163,223
販売費及び一般管理費	686,645	453,861
営業利益又は営業損失(△)	33,247	△290,638
営業外収益		
受取利息	3,370	11,354
為替差益	9,429	—
持分法による投資利益	12,673	—
貸倒引当金戻入額	—	4,000
その他	1,190	2,085
営業外収益合計	26,664	17,439
営業外費用		
支払利息	62	521
出資金運用損	—	15,790
持分法による投資損失	—	13,753
為替差損	—	11,108
その他	29	28
営業外費用合計	92	41,201
経常利益又は経常損失(△)	59,818	△314,400
特別利益		
投資有価証券償還益	—	103,941
新株予約権戻入益	1,301	64,074
特別利益合計	1,301	168,106
特別損失		
固定資産除却損	10,489	1,095
減損損失	4,626	3,988
関係会社株式売却損	—	58,493
その他	3,294	47
特別損失合計	18,410	63,624
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	42,710	△210,008
法人税、住民税及び事業税	4,159	6,323
法人税等調整額	△1,640	—
法人税等合計	2,519	6,323
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	40,190	△216,332
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40,190	△216,332

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	40,190	△216,332
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,252	△50,335
その他の包括利益合計	2,252	△50,335
四半期包括利益	42,443	△266,668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,443	△266,668

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間（自平成24年1月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	デジタル コンテンツ 配信	物販	ライツ&メデ イアコミュニ ケー ション	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	560,506	885,525	1,470,237	2,916,269	266,224	3,182,493
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	1	1
計	560,506	885,525	1,470,237	2,916,269	266,226	3,182,495
セグメント利益又は損失(△)	57,239	147,840	△141,833	63,245	△30,914	32,331

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	63,245
「その他」の区分の損失(△)	△30,914
セグメント間取引消去	915
四半期連結損益計算書の営業利益	33,247

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成25年1月1日至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注2)	合計
	デジタル コンテンツ 配信	物販	ライツ&メ ディアコミュニ ケー ション	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	228,269	407,116	2,594,166	3,229,552	1,062	3,230,614
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	0	0
計	228,269	407,116	2,594,166	3,229,552	1,063	3,230,615
セグメント利益 又は損失(△)	5,854	49,324	△345,145	△289,965	△759	△290,725

- (注) 1. 第2四半期連結会計期間において、「デジタルコンテンツ配信」に含まれていた株式会社アイロゴス、株式会社キントーンジャパン及び株式会社ドラゴンコンテンツの株式を譲渡し、連結の範囲から除外しております。
2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、音楽コンテンツ事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△289,965
「その他」の区分の損失(△)	△759
セグメント間取引消去	87
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△290,638

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。